教職課程自己点検・評価シート（2025年度）

【評価の定義】
A:観点に基づく中項目の実施状況が十分である
B:観点に基づく中項目の実施状況が不十分である
C:観点に基づく中項目の実施がされていない

項番	大項目	レベル	中項目	実施状況	評価	根拠資料
1	教育理念・学修目標	大学全体	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定状況	今年度、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直しを行った。	A	ホームページ
2	授業科目教育課程の編成実施	大学全体	複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況	学科等の強みや特色を活かして、授業科目を共通開設している。	A	履修要綱
3		大学全体	教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況	前年度に続き、ICT等の充実した学習環境を活用できている。教職課程関連図書は、さらなる充実を目指し、引き続き所蔵の増加を目指す。	B	導入している機器の一覧
4		学科等	教育課程の体系性	法令に則り授業科目を開設している。	A	履修要綱
5				学科等の特色を活かして、授業科目を配置している。	A	履修要綱
6		学科等	ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性	ICT活用指導力について、参考となる有用な情報を収集し、来年度以降に授業担当者間の情報共有を行っていくことを目指す。	B	シラバス
7		学科等	いわゆるキャップ制の設定状況	一部の科目をキャップ制の適用外としているため、適切な履修方法をガイダンスやICTによって周知し、加えて個人面談により学習の進め方の指導を行っている。	B	履修要綱
8		学科等	教育課程の充実・見直しの状況	「教職基礎演習」にて教職の魅力を学生に伝え、動機づけ向上の試みを継続している。また、LMS（WebClass）では、学修成果の可視化に加えて、教職履修カルテの運用も開始し、各年次終了段階での学修状況の確認をできるようした。	A	WebClass
9		授業科目	個々の授業科目の到達目標の設定状況	今年度も個々の授業科目の達成目標設定の適切性、妥当性の確認を行い、かつ履修者（単位取得者）がある程度到達目標に達していることの確認を行った。	A	シラバス
10		授業科目	シラバスの作成状況	今年度も個々の授業科目のシラバスチェックを行い、内容の適切性の確認を行った。	A	シラバス
11		授業科目	アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況	各授業科目において、アクティブラーニングやICT活用等、効果的な手法を導入している。	B	シラバス
12		授業科目	授業科目の見直しの状況及び実施状況	学生のニーズをふまえ、昨年度から「教職基礎演習」を開講し、教職に関する実践的指導を行っている。履修した学生からも高く評価されている。また、教職履修の利便性を高めるため、来年度からオンデマンド開講科目を設置する。	A	履修要綱、授業アンケート
13	学修成果の把握・可視化	大学全体	成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況	全学でシラバス記載内容の点検を行い、学内のルールに則り、適切にシラバスに記載している。	A	シラバス
14		学科等	成績評価に関する共通理解の構築	教職科目で同一名称の授業科目を複数の教員で担当している科目に関しては、部会にて成績評価の平準化を図るようにしている。	B	シラバス
15		学科等	教員の養成の目標の達成状況（学修成果）を明らかにするための情報の設定及び達成状況	ポータルサイト及び履修カルテを活用し、学生が自身の単位修得状況や目標の達成状況を確認できるようにしている。	A	ポータルサイト 履修カルテ
16		授業科目	成績評価の状況	各授業科目の達成目標及び評価方法・評価基準について、学内のルールに則り、適切にシラバスに記載し、それに基づき評価を行っている。	A	シラバス

17	教職員組織	大学全体/学科等	教職員の配置の状況	教職課程認定基準に則り、必要専任教員数を充足しており、適切に事務職員数を配置している。	A	教職課程変更届
18		大学全体/学科等	FD・SDの実施状況	今年度も、全学のFD・SDに加え、教職課程担当教員は部会を開催し、教員の養成の目標及び当該目標の共通理解を図り、学生の意欲や学習状況の情報共有を行った。また、事務職員については、教職課程に関する研修に参加し、適切な事務の遂行に努めている。	B	実施結果の一覧
19		授業科目	授業評価アンケートの実施状況	大学全体で授業評価アンケートを実施し、授業科目の見直しに繋げている。	A	授業評価アンケート
20	情報公表	大学全体	教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報及び学修成果に関する情報の公表の状況	法令に則り情報を公表している。	A	ホームページ
21		大学全体	教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況	自己点検・評価の評価書は令和７年度に公表予定。	C	自己点検結果
22	教職指導（学生の受入れ・学生支援）	大学全体	教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況	教職課程を履修する学生を対象としたガイダンスを定期的に実施している。加えて、個人面談により学習の進め方の指導を行っている。	A	ガイダンス実施状況
23				１年次及び２年次に教職課程ガイダンスを行う中で教員養成の目標に関して説明を行い、適切な履修方法を指導している。また、履修に関する個人面談を適宜行っている。	A	ガイダンス実施状況
24		大学全体	学生に対する履修指導の実施状況	教職課程を担当する専任教員と教務担当事務職員が教職課程の履修に関する相談の受付や情報提供等を行っている。	A	シラバス
25				活用できている。	A	履修カルテ
26		大学全体	学生に対する進路指導の実施状況	教員採用試験等に関する情報提供を行うとともに、必要に応じて学生が教員採用試験合格者から体験談等を聞く機会を設けている。また、「教職基礎演習」にて、教師になることへの意欲を高めるような指導を行っている。	A	教員免許取得者の就職先一覧
27	関係機関等の連携	大学全体	教育委員会や各学校法人との連携・交流等の状況	教職基礎演習にて、教育委員会や周辺の中学校と連携を図り、地域の教育課題や教員養成指標を踏まえた教育課程の充実を図っている。	A	シラバス
28		大学全体	教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況	教育実習の訪問指導にて、実習校との連携・協力を図っている。	B	教育実習訪問指導先一覧
29				毎年７月に高崎経済大学附属高等学校にて、学校現場体験に希望者が参加している。	A	学校現場体験要項
30		大学全体	学外の多様な人材の活用状況	例年、授業内でゲストスピーカーを呼んでおり、引き続き学外の諸機関と連携していく予定である。	A	シラバス